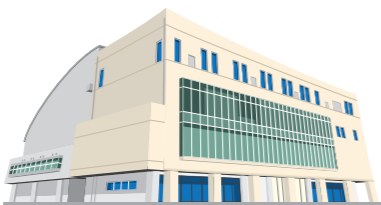


問 地域活性化や市民サービスを向上させるための5年後・10年後の市文化会館・体育館のあり方についてお聞かせ下さい。



答 今後については、市民ニーズの把握とともに、文化・スポーツの振興及び将来を見据えた健康づくりや生きがいづくりの場として、市民が気軽に集える魅力ある施設の充実を目指してまいります。

問 図書館・市民プール・中央公園等、市中央部の充実を図ることにより、平和・文化・教育・芸術・健康ゾーンと位置付け、市民の皆様喜んでいただけるまちづくりを推進すべきと、考えますが、市としてのご意見をお聞かせ下さい。



答 図書館については、機能を充実をさせ、小さな子どもたちから高齢者まで気兼ねなく利用できるよう、勉強スペースの充実も図り、ゆったりとした滞在できる空間づくりも考えて行きたいと思えます。今後、開かれた図書館として、市民の皆様によりよいサービスを目指し、取り組んでまいります。市民プールのあり方につきましては、高齢化社会の到来を見据え、子どもから高齢者まで、すべての市民が健康で元気に暮らせるよう、中央公園も合わせ、様々な角度から調査研究をしております。

問 街の安全対策についての質問ですが、LED防犯灯・防犯カメラ設置について、町会の管理負担を軽減するため、防犯灯・防犯カメラ・電気代・設置費用について、全て市が負担すべきとの考えを持つことにより、セーフコミュニティの理念である協働のまちづくりがもっと前に進むと感じられます。また、見守り活動などの充実が図られるよう、町会活動の時間の確保に対し、行政の配慮が望まれますが、市としてのお考えをお聞かせ下さい。

答 セーフコミュニティの犯罪防止対策としても、平成27年度では、幹線道路の市境界エリアや主要交差点へ防犯カメラを設置し、さらなる安心・安全の推進に努めてまいります。また、今後の町会と市のかかわりについては、5年10年先を見据えて、設置方法等も含め、町会と協議しながら調査研究を進めてまいります。



問 スポーツパークまつばらが7月4日にオープンを迎えるに先立ち、6月7日、完成セレモニーに参加をさせていただきました。利用金額も踏まえ、市民の皆様喜んでいただける施設と確信をしておりますが、安全対策についてお聞かせ下さい。



答 スポーツパークまつばらの安全対策でございますが、まず外部に対する対策としてガードレールの設置等、利用者の安全を最優先に整備を行っております。また、場内については指定管理者が、常時巡回点検等を行い、利用者がルールを守るよう確認を取りながら、安心・安全に利用していただけるよう対応してまいります。

問 教育改革に伴う、希望学の取り組みについての質問ですが、希望学とは、「希望を大切に何かを行動によって実現する気持ち」と定めて居ります。世界から見た日本の子どもは、自身の夢や希望を語り合う割合が最低をさしています。子どもたちに、自分の夢と希望を持っていただき、現実社会の中でどう挑戦し、叶えて行くか？ そのための勉強であり、生きて行く上での基礎となる事を、しっかり教えて行くのが教育者としての責任と思われませんが、市としてのお考えをお聞かせ下さい。

答 子どもの成長には、一人ひとりの子どもたちが、社会の中での自分の存在意義を自覚し、大きな夢や目標、希望を持って、勉学や仲間作りに励むことが必要だと考えています。子どもたちが、日々接する、保護者・教職員の姿も、無言の教材ともなっており、その生き方や、働き方に、子どもへのかけがえない愛情、仕事への誇りや情熱がなによりも求められていると思えます。松原市の未来を見据え、教職員が夢と希望をもち、チーム松原の意識をもって、今後も子どもたちのために、一丸となって指導に努めてまいります。

スポーツパークまつばらの完成セレモニー (平成27年6月7日)

スポーツパークまつばらの完成セレモニーが行われました。平成22年9月に市議員として初当選させていただき、9月議会、12月議会で、阪神高速大和川線に伴う地域活性化及び、高架下利用等を訴えてまいりました。今後も皆様に喜んでいただける「まちづくり」に挑戦してまいります。



笑顔をつなぐ車いすダンス (平成27年5月24日:カンテレアリーナにて開催)

ジェネシスオブエンターテイメントとカンテレがコラボした、「超えろ」笑顔をつなぐ車いすダンスを開催。公明党議員も多数参加(浮島衆議院議員・伊佐衆議院議員・国重衆議院議員・石川参議院議員)。※ソーシャルパフォーマンスとは、一般的には社会的利益実現のための活動を意味します。しかし、ここでは様々な社会課題と向き合うことをテーマにした表現活動のことを「ソーシャルパフォーマンス」と呼び、関西テレビのCSR活動として(伝える力)と(つなぐ力)で応援する事です。

【ジェネシスオブエンターテイメント代表の坪田建一さんと河内市議懇談を紹介】

「坪田」障害のある人となない人の講話と車いすダンスの体験から、自分と違う立場で生きる人の生き方や想いを感じるきっかけをつくり、生徒さん自身の周りにおける人間関係や生き方を考えることのできる時間を創ること、と語られました。

「河内」素晴らしいステージに感動。ジェネシスオブエンターテイメントの平和・文化・芸術を通じた取り組みに賛同、1人ひとりが自身の壁を打ち破り、社会に打って出る姿で、皆に勇気・希望・感動をあたえる取り組みに心を打たれました。ありがとうございました。



月ヶ瀬クリエート松原市少年自然の家に訪問 (平成27年5月20日)

2年前、アスレチック広場入り口の吊り橋が利用不可だった為、松原市になおすよう提案。子どもたちが安全で安心して楽しんでいただくよう、修理をさせていただきました。施設は子どもたちの林間学校等によく利用され、自然にふれあい、団体の生活の中で、知・徳・体を磨く場としてたくさんの方に利用されて居ります。指定管理業者の皆様と、これからも利用していただける市民の皆様に対するサービス・おもてなしの取り組み等、色々とお話をさせていただきました。

